



和賀正義 議員 (TSUNAGU)

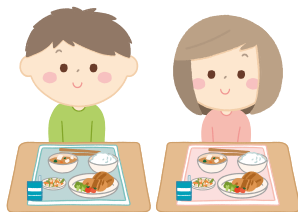
食の楽しさを学校給食に

答弁…食に対する興味促進の研究をしていく

▲録画配信
(12月9日一般質問)

問 給食費無償化などもささやかれる中、食を通じた健全な教育と、家庭内のコミュニケーション向上を図るため、各小中学校で給食のアンケートを実施してみてもどうか。また、地産地消を生かした家庭や飲食店のレシピを公募してみてもどうか。

答 子どもたちが好きな給食についてのアンケートは実施している。児童生徒が給食を楽しみにし、食に対する理解を促進するため、今後、どうすれば残食量が減るかについてアンケートを行ったり、メニューに興味を持てる名前を付けるなど、研究していく。



地域 食を通じた地域活性化を

答弁…民間事業者等の開発・販売を支援する

問 梨団地やイチゴノオカなど、未来に向けてさまざまな展開が予想される中、それらの市内外に向けた周知が必要。ご当地グルメを作るため、特産品の開発・販売について、今後の見解を伺う。また、特産品についてのアイデアを市民から募集してみてもどうか。

答 特産品の開発・販売は、民間事業者や市民団体が主体となっていくことが商品の持続につながると考える。市は、こうした活動をより積極的に支援していく。市民からのアイデア募集については、既に実施している自治体の事例を研究し、実施について検討する。



細井藤夫 議員 (WAKABA)

終活ノート類の積極的な活用を

答弁…ホームページに掲載し提供していく

▲録画配信
(12月9日一般質問)

問 市では㈱鎌倉新書との協定に基づき、エンディングノート、終活べんり帳の無料配布を行っている。

手書きが理想とは思いますが、手書きに難があるかた、また、窓口での受取りが難しいかたのために、デジタル版を提供してはどうか。

答 エンディングノートの著作権は㈱鎌倉新書が所有しているが、Word形式での提供は行っていない。このことから、今後も、ホームページ上で、PDF形式による提供を行っていく。また、終活べんり帳についても、同様にホームページに掲載する。



市政 シティプロモーション戦略の今後は

答弁…総合振興計画への位置づけを検討する

問 「イチゴノオカプロジェクト」事業開始は、今までの「なにもないけどいいところ」から「特徴ある市」へと、市政の発想を転換できるチャンスと考える。こうした大きな変化の時代、これからのシティプロモーションをどう考えるか。

答 シティプロモーションは市の発展にとって重要な事業であると考えている。今までに培ってきたシティプロモーションに関するノウハウや理念等に加え、これからの大きな変化に対応していくための施策を総合振興計画と一体的に位置づけることも含め検討していく。